

総務省の「情報アクセシビリティ好事例 2023」に、
協議会の会員の製品・サービスが採択されました。

総務省では、


- (1) 国民全般に広くアクセシビリティに配慮した製品を知っていただくこと
- (2) 情報アクセシビリティに特に配慮している企業等やその取組を奨励すること

を主な目的として、令和 5 年度からの新たな取組として情報アクセシビリティ好事例を募集しており、審査の結果、23 件の製品・サービスが「情報アクセシビリティ好事例 2023」として下記のサイトにて公表されています。

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000162.html

この内、当協議会の会員が取り組んでいる以下の 2 件が紹介されていますので、ご案内させていただきます。

①ソフトバンクの [SureTalk](#)  SureTalk
手話ユーザーと音声ユーザーのコミュニケーションをより円滑にするサービス

②リコーの [Pekoe](#)  Pekoe
会議などの場で、聴覚障がい者と聴者が気軽に情報保障を行いながらタイムリーに会話や議論が行える、音声認識を活用したコミュニケーションサービス

以上